なかわだ会報

第122回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－803－6141
1988　年1月3日

1月の行事

1日　ミサ　10：00
8日　委員会　19：30
17日　新年会　11：00～
24日　婦人会　ミサ後
31日　信徒総会　〃
8、22、29日　レジオ

明日に向けて　②

山崎　正俊

◎　誰の言葉によるのか、司教と信徒が同じテーブルを囲んで話し合うことに就いて、京都の新聞には、これは、１５４９年の聖フランシスコ・ザベリオが日本に渡来して以来の、はじめての歴史的大事件であるという意味の記事が、出ていたという。はじめにお願いしておきたいことは、これからでもよいから、１９８７（昭和６２）年１２月６日付けのカトリック新聞を、よく読んでほしいということ。そこには、この第一回福音宣教推進全国会議のことが、くわしくでているから。

◎　その日、京都の三条・河原町の司教座聖堂では、教皇大使司式の共同ミサがささげられた。それと同刻に、その地下の大ホールでも、そこの青年たちが山から切ってきた木で、手作りの十字架や祭壇や説教台がととのえられ、聖堂にしつらえられたところで、相馬・森・地主司教らによる共同ミサがささげられた。けれどもこのほうは、これからの教会が開かれたものであるために、司教も他の全信徒も協力して、同じキリストにならう者としての生命を、生き貫くことをはっきりと表現しょうとして、わざと、司教荘厳ミサの形はとらず、聖歌も青年たちにしたしめるフォークソングの調べによって合唱されたという。

◎　教皇大使は、自分のほうのミサが、いくらかはやく終ったので、そのまま地下室のほうに降りて来て、どうしても、この全国から集った、特に日本の明日の教会を担う者たちすべてに、直接に話して置きたいことがあるとかで、しばらくの間の熱弁を振るわれた。教皇大使は、昔からのしきたりによった司教の荘厳な正装を着け、ミトラと牧杖を以て、青年たちの前に立ったのだ。――そこに居合せた或る司祭には、教会の新しい時代の姿を漫画的にというか、象徴的に表わしているように感じられたという。私も、同感だ。

◎　飾りすぎられた教会の指導者たちは、ちょっとでも気に入らぬところがあれば、すぐさまおどしつけ、恐れて縮みあがって頭を低くして、はいつくばっているのを見まわしている、あの暴君の姿をまねしたのでもあるまい。それにしても、イエズス様の教えが、このような形式のもとに保ち伝えられてきたのは、隠れもない事実だと見られており、それは表面的には、そのとおりだ。

新しい年を迎えて

東原　秀夫

"こそで明け、もの字で送る年のくれ"除夜の鐘を聞きながらの私の駄句である。
新しい年を迎える度に今年こそはと希望を込めてなにがしの計画を心に誓ってはみるものの３６０余日が過ぎて除夜の鐘を聞きながら１年を振り返ってみると、年の初めの決意は何歟、昨年と同じ為すこともなく過ごして歳丈をとろうとしている自分を見出だして今年もか、と反省の臍を噛む次第です。

昨年来横浜教区50周年を迎えるに当たって司教様から教会共同体としての刷新運動が提示され本運動に対する私達えの期待が寄せられていることは御承知のところ。私自身本運動について今日まで何回となく目と耳とで接してまいりましたし、当教会においても幾人かの方々が当教会が属する地区グループとの話合いの集いに参加されてこられましたが、私自身この運動に則ってどれ丈具体的行動をしたか顧みて忸怩たるものがあります。掲げられた刷新運動が定着し司教様の御期待に添えるものとなるには時間が必要かと思いますが、又信者一人一人の自覚と行動がなければ徒に百年河清を待つことになってしまいます。

私達はともすると恵まれた日本の環境の中にあっても「社会人としての生活の厳しさ」と言う隠れ家の中に入り込んで信仰の厳しさから目を外らした信者生活に甘んじてはいないでしょうか。
以前にも触れたことがありますが、告解を忠実に行い御ミサにあずかり御聖体を戴く（神と自分丈の関係）それ丈が信者の努めではないように思うのです。こうした神に対する独り丈の甘えの姿勢から脱皮して神に対する己れの責任と義務のあり方をもう一度見直すことが必要なことの様に思います。誰かがやっている。誰かがやって呉れている。ではなく自分が何かをやる。自ら参加して協力し行動する。無関心ではなく関心を持つこと。全信者の協力と実行から中和田教会の共同体刷新運動が始まるものと考えます。

祈りとは己れが変わること。告解とは己れを変えることであるとは共同告解時のウルフ神父様のお話でした。

新しい年を迎えて信仰の厳しさ、真のカソリック信者の生活を考え神に対して偽りのない自分、神に対する己れの責任と義務を再度考え直して"今年こそ"少しでも納得できる１年を送りたいと思っております。

（終）

１年をふり返って

岩崎　好愛

６３年度の新しい役員さん、地区委員さんも決り、婦人会の活動年度の交代の時期が今年もやって参りました。

毎年新役員さんの役割分担の決定には、ずい分手間取るのですが、結局いつの年も、婦人会が仲よくうまくやっていけているのは、神様のよきご配慮によるものなのでしょう。

今年も、この神様のご配慮と、会員の皆様のご協力とによって、いくつかの実りを得て終えることが出来ましたことを感謝しています。

今年は中和田教会のお仲間とそのご家族にご不幸が相次ぎ、み摂理とは申せ胸の痛む思いをすることの多かった一年でした。

こうした時にも、いつも婦人会の方が時間のゆるす限りにおいて馳せ参じ、ミサに参加し、祈りを共にできましたことは、亡くなられた方は勿論参加したすべての人にとっても大きな慰めであったと思います。

又今年は、教会としては中止の方向に向かっていたバザーが、婦人会の「収益にこだわらない、且個人的制約負担がかからない規模での、親睦を主としたバザーを…」という意向を受け容れて頂き、実施の運びとなり、それがともかくも所期の目的をある程度満たす形で、無事終了出来ました事は、大きな喜びでした。一部の人だけのお祭りさわぎだったとは思いたくありません。ほとんどの方が、恐らくより自由な心で、直接間接に参加して戴けたのではないかと感じています。

当教会も10周年を迎えます。こうした10年間の積み重の中で、少しずつ反省と改善がなされつつよりよい形での活動が育ってゆきつつあるのだと実感しています。

開いた心と、出来る時に出来ることをという参加意識をもって、これからもみんな仲よくやって参りましょう。

高校生会だより

クリスマス、そして新年明けましておめでとうございます。今年も、中高生会ともに、よろしくお願い致します。中高生会では、クリスマスにあたり、聖堂や廊下、玄関の装飾、２４日のミサの聖歌隊を致しました。準備不足や不行き届きな点は、深くお詫び致します。また、中学生会と高校生会では、それぞれ、クリスマス会を開き、互いの親睦を深めました。

１２月１９、２１日に、カトリックセンターで学連の黙想会がありました。今年は、例年と違い「新体道」というものをやりました。「新体道」という名前を初めてきく方も多いと思いますが、これは、武道、宗教、芸術の側面から作られた、比較的新しい瞑想の手段です。トレーニングはなかなかハードですが、新しい物ということで、参加者は、興味をもって、とりくめたと思います。今回は、「新体道」のほんのさわりでしたが、実生活にとりいれられる面も少なくないとおもいます。

大宮記

委員会だより

12月6日集会室に於いて開催

1．神父様、古稀の祝いの件　前回決定の再確認
　日時、場所等に関しては、「お知らせ」の欄で記述。
2、年間スケジュールの件
　例年と変わらないが、神父様出張に関しては未決定。
3、クリスマスの掃除、及びパーティ準備の件
4、信徒総会の件
　1月31日ミサ後に開催。
5、中古の椅子購入の件
　予算25000 円、小谷副委員長が検討。
6、会計報告
　月次決算報告
　詳細は会計又は広報委員の所に有ります。
7、その他
　ご老人の訪問時、自動車の手配
　自転車置場の整理、共に小谷さんが行う。

婦人会だより

12月例会　20日（日）開催

1、63年度の新役員及び地区委員の方々が次の様に決まりました。
　会長　石井　悠子
　副会長　冨田　ヒサ子
　書記　中島　喜美子
　会計　清水　頼子
　典礼　佐々木　靖子
　〃　島倉　文江

　地区委員
　踊場　横塚　郁子
　白百合、岡津　吉田　万喜子
　中田　川原　葉子
　下和泉、下飯田　甲斐　ミヨ子
　いちょう、上飯田、瀬谷　一法師　弥生
　ドリーム、深谷、和泉　中町　扶美代
2、山崎神父様にクリスマス・プレゼントとして図書券を差上げました。
3、1月の例会は24日（日）となります。
　総会を兼ねますので、多くの方の出席をお願いします。
　会費　400円　1月10日より張紙しますので出席される方はご記入ください。

　お知らせ
・山崎神父様の古稀のお祝いと、中和田教会に所属されている皆様の新年会を下記により計画しました。奮ってご参加ください。
　日時　1月17日（日）　11：30～14：00
　場所　太陽（たいあん）
　費用　3000円／人

・転入　皆さんよろしく
　フランシスコ・アシジ　木下　浩平さん
　マリア　エリザベト　紀代子さん
　フランシスコザベリオ　浩彰君
　ルチアノ　泰徳さん
　住所　汲沢 1－11－14－106 ぐみさわ団地

2月の行事

7日　委員会　ミサ后
14日　壮年会　〃
17日　灰の水曜日　19時
21日　婦人会　ミサ后

12、19、26日　レジオ

なかわだ会報

第 123 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年２月７日

明日に　向けて　③

山　崎　正　俊

◎　日本の相撲社会の偉大な伝統の中にある旧いしきたりには、これまでもなく、きびしい批判にさらされているところがあった。実際には、どこがそうなのかということに就いては、それほど、一般に知られているわけではなかった。直接に利害関係のないところでのことでもあるうえに、何処ででも似たことはあると思われていることでもあった。それには、日本と西欧との違いもあるから、同日には論じられないが、カトリック教会の伝統の中にも、結果的には似たものがあって、人間的な思い込みから長い間に積み重ねられてしまったものが、改められないままにこびり付いて、キリストの教えをゆがめてしまったものがあるとか、この頃言われはじめたものがある。これは、人間の在り方の基になるものだから、それほどに見すごしにされていたことは厳しく反省され、一刻もはやく、回心されなければならないこと。

◎　さきほど横綱になり、実力も相当のものとして、将来の大成を心待ちされている人が、部屋の親方と、感情的なもつれもあってであろうが、意見の対立からか、何処かえ雲隠れしたという事が起こった。それを引き止めようとした親方の夫人は、振り飛ばされたと伝えられている。この横綱が廃業させられるということによって、表面的には収められた。当然のこと、その社会的なものと地位による力関係から、一方的に、その横綱は自分の非を認め、協会や親方に謝まり、あちこちに頭をさげてまわった。年も若いし、本人の将来のことも考えて、怒った親方も当惑した協会も、可能な限りの寛大な処置はとったのだという。それでも、おかしいことに、昭和６３年「初場所」の番付けは、この問題がこれほどの表沙汰になるまえにだされていたとかで、その横綱の名が載せられているままのために、好事家たちによって、はやばやと売り切れ、プレミアさえ付いたとか。

◎　その組織は守られねばならない。個人よりも組織のほうが大切。だから、余程の強力な支持でもない限り、個人は消し去られることになる。個人が「引かれ者の小唄」をうたい「泣き寝入り」をすることになるのは、そのためだが、まことにその反乱に正しいところがあるならば、いつの日にか、それは「よみがえる」ことを信じたい。

中国の朋友

位　田　義　男

私が仕事で中国と係わりを持つようになってもう九年になります。顧みると印象深く残っているのは、中国の方々に案内された名所旧跡も数々ありますが、やはり脳裏に深く残っているのは、苦労を共にした人間関係にあります。中国では初めて会った人は「新朋友」シンポンユーと言い、二回目に会った時は「老朋友」ラオポンユーと良く言われます。その論法で言えば、私には老朋友が沢山居ることになります。しかし老朋友にもいろいろあり、ほんとうの老朋友、即ちお互いの心が通じ信頼し合える朋友はそんなに多くはありません。ケースとして多いのは、何と言っても重要な商談が難航し四十日以上もかかって終結を見た時や、工場建設中にトラブルが発生し、どちらも譲れず長期に亘交渉で共に苦労してやっと解決出来た時の当事者間に朋友のきっかけが出来、その後人間交流の中で駆引きもなく本音の会話が出来るような間柄となればほんとうの老朋友と言えます私の老朋友の一人に次のような出逢いもありました。私が常駐していた北京事務所に中国人が五人居り、殆どが大学を卒業し外国語が話せて、中国ではエリートと言われて居りました。その中の一人に中学卒で日本語を勉強中の雇員が居り、その人が私の引越しを手伝ってくれた時の話である引越し作業が終わって、サイドホードの上にある聖家族のご絵を指差し、何故家族の写真がなく、この絵が置いてあるのか質問して来た、私のつたない中国語と筆談をまじえて、キリストと聖家族の話を簡単に説明し、私がカトリックの信者である事を初めて知った。その時は余り質問はなく関心がないようでした。何日かして私の仕事している部屋に入って来て、マリア様はどんな人と突然質問して来た。仕事中でもあり、只慈悲深いお母様とだけ答え、又ゆっくり話をしましょうと言うとその必要はありませんと断って去った。中国では宗教の自由はありますが外国人とイデオロギーや宗教問題で影響を受けるような話はしてはいけない国内事情があるやに聞いて居り深追いは避けたしかしそれ以来割に話合う機会も増え、家庭の事も話すようになった。彼は二年前に結婚し奥様は回族であり、その父親と三人暮しである。彼は漢族で生活習慣が異なる事から生じる家庭の悩みがある。　また一方、職場では他の中国人に較べ言葉が出来ないためのコンプレックスもあり壁にぶつかっている様子であった。そこで彼の日本語学習の補習と私の中国語の勉強のためにもなる方法でお互いの学習協定を結ぶ提案をしたら、是非と乗って来た。学習内容はお粗末であったが彼にとってはまともに話を聞いてくれる一人の外人がいる事で明るさが出て来て、行動に自信を持って来た。私が帰国する頃には会話も通じ易くなると共にお互いの心も通じ合うようになっていた帰国に際し、あの聖家族のご絵をいただきたいと懇願され渡すことにした。彼には未だキリスト教を正しく理解出来ないと思うが、聖家族のご絵を通しての老朋友の一人であり、友情を通じて真の幸福を求めるようになればと祈っている次第です

委員会だより

６３年１月８日　開催

１、新年会の件　神父様の古稀のお祝いを中心とした新年会開催につき話した。
今後、毎年開催（都度、前年満７０歳になられた方も招く）

２、信徒総会の件　１月３１日開催につき検討を行い次の通り決定した。

１）次第　６２年度経過報告、会計決算報告
会計監査報告
一粒会会計報告
６３年度会計予算審議
（会場は集会室１階）

２）会計監査　総会当日迄に会計監査をうける

３）委員会委員選出　（神父様、壮年、婦人会長）により候補者を選出願う。

尚　６３年度予算内容については、別途委員会を開催して審議を行う。

婦人会だより

昭和６３年度婦人会総会開催（１月２４日）
出席者４０名のもと、旧役員の挨拶、６２年度の活動報告、会計報告　６３年度の役員紹介と会長挨拶、役員の仕事の分担等など。
又、今年度の主な行事の予定は
５月　　遠足
１０月　　バザー
１１月　　死者の月（お墓参り）
その他（聖書研究、オムツ縫い、聖母の園のシーツ交換、ベビーホームのおむつたたみ等）
以上のことを例会のとき話しあって決めていきたいとおもいます。
その後、旧会長のカンパイ、山崎神父様のご挨拶、歓談（軽食）、聖歌を歌い総会をおえました。

壮年会だより

１月１０日（日）８名出席して集会室にて開催

１、報告事項
１）クリスマスに子供達のためケーキ代支出の件
２）新年会は１月１７日（日）山崎神父様の古稀のお祝いを兼ねて行います。
３）地区実行委員会に提出した資料について会長より説明
４）教会の年間行事予定

２、その他
集会は親睦を目的に毎月第２日曜に行うことが確認されました。皆様の参加をお願い致します
２月は会計報告の予定です。

臨時壮年会　１月２４日　９名出席
臨時壮年会　１月２４日　９名出席

1)1月31日地区実行委員会　11：00～16：00
聖光学院に於いて10：00から受付
壮年会から最低２名は参加を希望

２）古稀、新年会の収支決算報告　（小谷さん）
６０名出席　山崎神父様　　壮年会　１６名
婦人会　２８名
小、中高生１５名
尚、600 円不足したが、壮年会が負担した。

婦人会長をお受けして

聖母年にあたり婦人会の役をお受けする巡り合せになりまして、その大役であることの重さに身が引締まる思いです。

マリア様が天使のお告げをお受けになった時の「おおせの如く我れになれかしとおっしゃった、あのお心にならい、他の役員の方々と共に、心をあわせて、奉仕させていただきます。多くのご意見、ご要望を例会の時にはおよせいただき、よりよい方向にもってゆくようになればと、願っています。

高橋りゅう子さん、塩山由香利さん、現在お勉強中の仲村さん、松田さん、米谷さん、それから総会当日の松尾さんご姉妹の御入会で、総勢八十六名となったことは、大変嬉しいことです。

婦人会の活動は、いろいろと犠牲が必要のこともありますが、お互いの親睦と教会の発展のため神様のみ栄えのために役立つように出来ればと思います。

私どもいたらぬ所も多々あるでしょうが、皆様のお祈りと、ご協力のほどを、よろしくお願いいたします。

（石井　悠子）

お知らせ

・シュロの枝を14日までに教会に持って来て下さい。
・ 2月17日（水）は大斉、小斉です。
・十字架の道行は毎週金曜日　16時～です。

なかわだ会報

第 124 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年3月6日

3月の行事

6日　委員会　ミサ后
13日　共同告解
21日　婦人会　ミサ后
27日　壮年会　〃

11、18日　レジオ

明日に向けて　④

山　崎　正　俊

◎　歴史を見ると、教会の場合。その指導層が、必ずしも適切な指導をしていたわけでもない。その誤りを、いまでは、認めなければならなくなっていることも、いくつかある。政治的な問題の場合には、その誤りを改めるために、どれだけのことがなされているか、これからなされなければならないかは、その基準がゆれ動くものだけに、それについては何も決定的なことは云えない。しかも、政治的には、完全に否定されることはなく、時が過ぎたというだけで、どの時代もその功罪が論じられ、それなりの評価をする立場の人たちがあって、どれにも正当性を主張されるところが見られる。けれども、教会のことに関しては、はっきりと、イエズス様を見つめることによって真意がはかられるから、いつかは明らかになる。

◎　或る新聞によると、驚いたのだが、私も知らないうちに、親方や協会の側からものを見ていたことに気付かされた。日本の伝統の外に生きていた欧米の人によると、相撲社会のいまの体質のなかには、改められなければならないところがあるのに、それは見ないで、しきたりに逆ったということで、頭ごなしに双羽黒関を非難し、断罪しているところがあるというのだ。これには、門外漢による勝手な放言とは云い切れないものがある。

◎　あの双羽黒関自身にも、相撲社会のしきたりの中で成長したことの故にか、上に立つ者の身勝手さの中にどっぷりとつかりすぎているのに、それにはあまり気付いていない風があり、親方とかのような自分より上位の者には、きびしく反発して、不満をかくそうとはしなかったのだが、それでも、勝者が人間的にも尊いという相撲社会の、下位の者にたいする思いやりの足らなさは、大いに、見直されなければならない。

◎　教えられたり経験したり、それをもとにして類推することができたりしたこと以外のことなどは、あまりわからないので、とんでもないところで犯罪を犯して、平気でいる。しかも、それを弁護して、批判する者を、それだけで嫌ってはばからないところがある。イエズス様からの「師である私が、汝らの足を洗ったのだから、汝らも互いに仕える者であれ」「私が汝らを愛したように、互いに相愛せよ」という新しい掟があるのに。

お見舞の思い出

伊藤晃一氏は、強い信仰の人でした。壮年会長の代わりに、お見舞いしたのは、氏が神様からお召されになることになった日の、あれは前日です　聖マリアンナ横浜西部病院の明るく美しい大学病院。氏は大変お元気で枕もとに、はずして置いてあった眼鏡をとり、あの張りのある声がとぎれなく、続けられることになります。

中和田教会は、年寄りが張切りすぎだから、新しい世代がそだちにくい。（これは、耳が痛い話です）　新年会とか、何かの集会だけが親睦ではない。こんなことはどうでもよい。要は霊的なつながり。会をよくするのは、それだけのはず。（そうです。そうです。）　いろんな主題に話は飛びつづけます。

それから、「ああ、疲れた」と、突然に言葉の調子をさげて、「もう　やめましょう」　そして「皆様によろしくお伝えください。ほんとに有難うございました。」　（この人も御自分から疲れたと言うことがあるのか）

付添っておられたお姉さまによると、よんどころない用事で節子婦人は、自宅のほうに帰っておられ、今日は私が、この近くに住んでいるので、代わりをしているとのことでした。廊下まで送っていただいたのですが、弟が言過ぎをしたようでと、ひどく恐縮しておられました。でも、この世を去るにあたっての、伊藤晃一氏の尊い御遺言であったと、いまの私は、信じたいのです。

伊藤さんを独りにしないであげてくださいと、ご挨拶したあと、三階からエレベーターで降りながら、あの病室に看護婦さんが入ってきて、何かフラスコをためらいがちに出そうとしたとき、この方ならかまいませんよ、教会の人だからと言われたのですが、その全幅の信頼を思い出し、何故か、涙がこぼれそうになり、困りました。

親切な受付の守衛さんに、面会者のバッジを返してから、病院を出て、勤め先の会社に帰ったのですが、あのお姉さんと話したマルコ福音書の言葉を，もういちど、孫娘に譲られた薄い新約聖書の中に読みかえしました。

マルコ福音書１章３節「主の道を整え、その歩む道をまっすぐにせよ」と。　（小谷記）

50周年教区大会

日時　　4月24日　　11時～15時30分
　　13時　ミサ聖祭
場所　　栄光学園
色々なイベントが用意されていますので多数参加下さい。

委員会だより

2月 7日婦人会より２名出席のもと集会室に於いて開催、

1、 1月31日の総会で承認された教会委員会の各メンバーはそのまま留任となった。

委員長	東原委員
副、及び渉外	小谷委員
典礼	萩原委員
財務	橋　委員
子供会	井上委員
行事、設備	花坂委員
広報	石井委員

2、今年度主要行事について
・復活祭の持寄パーティー、バザーに関して婦人会の意向を確認して決定する。
・山崎神父様出張時の留守当番の調整。
・灰の水曜日のミサ時間 2月17日　19時とするが、日中の希望が有れば10時のミサも検討する。（希望者は神父様に申出て下さい。）
3、枝の主日用の枝の手配
4、会計報告
　月次決算報告
　詳細は会計又は広報委員の所に有ります。

婦人会だより

2月21日の例会は36名出席のもとで行われました
：今年度のバザー及びイースターのミサ後のパーティーに関して婦人会の意向を委員会より確認されている件について。
・婦人会としては会及び教会運営費の一部を捻出するためにもバザーの大小に拘らず親睦と収益の為に今年も行う事とします。
・イースターのパーティーに関して、おしるこを用意することの計画を立てています。
・恒例の婦人会の遠足は今年は教会巡りを行う事にしました。詳細に関しては３月の例会時に決める予定です。
・毎週火曜日と木曜日に行っているボランティアに皆様どうぞ積極的に参加される様にお願い致します。
・３月のお当番は中田地区です。おむつ縫いもよろしくお願いいたします。また、おむつ用の綿布が不足しております。皆様のご協力をお願い致します。

壮年会だより

２月の例会が、 2月14日に８名の出席のもとで開催されました。

1、昭和62年度壮年会会計報告
　会計より収支が報告され承認されました。
　詳細は会計宛てお問合わせ下さい。
2、委員会の報告　（五十嵐会長）
3、横浜教区50周年地区実行委員教区集会
　1月31日に聖光学院にて開催され、当教会から五十嵐会長と小谷副委員長の２名が出席され、両氏よりその内容報告がありました。
　とくにグループ討論では、
・最近増加している、（非合法ではあるけれども）日本で労働している外国人の方々に対する対応
・小教区内での情報伝達の悪さ
・教会で活動している人が限られた範囲になってしまっていること。．．．などの問題が討議されたとのことです。
4、 3月27日（枝の主日）の御ミサ後に壮年会で庭の手入れを行うことになりました。終了後懇談の場も設けたいと考えておりますので、会員各位のご参加をよろしくお願い申し上げます。
5、横浜教区50周年にちなんだ記念募集で選ばれた新しい歌「草の上のキリスト」の紹介が有りました。別途ご案内あると存じますが、早く覚えましょう。
6、山崎神父様より、神父様直々に作成された新しい信徒名簿のご披露がありました。
7、小谷副委員長がご多忙にもかかわらず渉外担当委員をも兼務しておられますが、五十嵐会長より、壮年会でも渉外担当委員の活動を積極的にバックアップ、サポートする体制を作りたい旨提案がありました。

お知らせ

・お悔み
　ペトロ　伊藤晃一氏
　2月16日（水）死去　17日（木）葬儀　当教会
・黙想会と共同告解
　3月13日（日）
　指導　ウルフ神父様（栄光学園）
・司祭叙階式
　クレメンス　芹沢　博仁（ヒロヒト）師
　二俣川教会
　3月21日（月）　11：00
・聖週間典礼日時
　聖木曜日　3月31日　20：00
　金〃　4月 1日　20：00大斉、小斉
　土〃　4月 2日　20：00
　御復活祭　4月 3日　10：00
　十字架の道行は毎週金曜日　午後 4：00～です
・転出
　萱沼　紀雄　ご家族
　〒 232　南区弘明寺58　推名様方
　末吉町教会へ

なかわだ会報

第125回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年4月3日

4月の行事

3日　イースター
10日　壮年会　ミサ后
17日　婦人会　〃
24日　教区大会
　栄光学園ミサ　13：00
8、15、22日　レジオ

明日に向けて　⑤

山　崎　正　俊

「何が大切なことか」がわかりかけました。僕たちは、いまになって、先輩が、どれほどの得難い人であったかに、気が付いたところです。あの頃の先輩の年齢に近くなったせい、だけではありません。自分で、ものを考えはじめたからです。

まえから、あちこちで、真似ごとはしていたのですが、それなりのロックバンドを組んでから、まだ一年にもなってはいません。大学の入試のことなど、気の重いことも、眼の前にさしせまっておりました。それでも、とうとうやりました。約三十分間。コンサートらしいものへの出演。

気の合う仲間がおり、しあわせにも、各パートがそろっていたからです。それでも、まもなく、このうちの大半が、遠くに出て行きます。これはそれで、一瞬の思い出。でも、この短くても激しい燃焼は、始めての体験。　春は英語でスプリング。スプリングは日本語でバネ。僕たちの青春。それは宇宙への、明日への飛躍の、バネ。

ここに残った僕も、新しく、歩みはじめる。教会で、僕たちのために、先輩がやってくれたのと同じ道を。いまの、この感激を後輩たちにも、わけてやりたい。できたら、バンドのメンバーも探し出したい。この仲間が、どこかに集まれる。そのときには、ドラムを叩きエレキを掻きならし、大地をけり腕を振って、飛び跳ね大声でわめきちらそう。僕たちの、生命の爆発だ。

一つの切掛けを与えてくれた先輩。いま、はっきりと、心の底にたたき込まれた生きる姿勢。僕たちの真実。ありがとう。隠されて見えなっかた教会の、伝統のなかの真実。はっきりと教え伝えられて、しかも、それがわかるほどにならせてくれた。ありがとう。どうしてこれまでは、わからなかったのか。失敗を恐れず、ためらう心を振り払い、思切って、ぶつかってみます。－－－－囲いの中の九十九匹の羊をそのままにして、迷い出た一匹を探しにゆく、よき羊飼。僕たちはみな、それに感動だけしていたのですが、これからは、それほどに苦しんでいる仲間がいることなど、気が付かなかったことを、恥とします。囲いの中にいる自分を見て、安心することはやめて、その悩みを越えることに、力を出し合います。誰もみな同じ生命を受けたもの、「同志」だからです。

僕たちの喜びの出発を、ありがとう。

北海道旅行から帰って

鈴木　順

高校卒業記念と青函連絡線廃止を兼ねて二月二十三日から五日間、北海道に行ってきました。
無論、狂信的鉄道好きの僕のすることと言えば鉄道での北海道縦横断です。だけど旅行の経過をつらつら書いても仕方ないので、旅行の中で印象に残ったことを書いてみたいと思います。

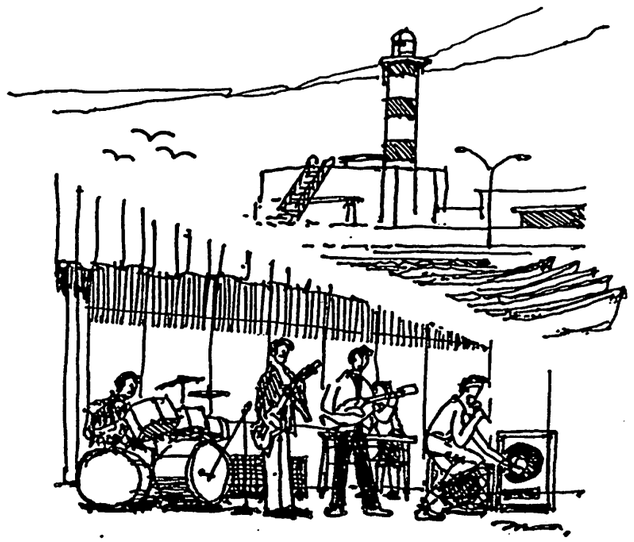
一つは北海道の最果てである稚内へ向かう途中塩狩峠を通った時でした。小説でも有名なこの峠は、明治四十二年二月、一人のキリスト教の青年が自らの命を犠牲にしてまで列車転覆事故を防いで大勢の乗客の命を救ったという殉職の地（彼は鉄道員だった）です。現にこの峠は人も通わぬ原始林の中で激しいアップダウンと鋭いカーブが続き、列車はさしずめ森の中を走る低速のジェットコースターです。そして僕も重連の機関車に引かれる列車に乗って、当時を思い浮べながら感慨にひたり、いまこの一瞬連結器がはずれて自分の乗る車両が坂を下り始めたら自分はそうするだけの勇気があるだろうかとマジで考えたものでした。

二つ目は旅行の四日目の朝、網走から釧路に向かう途中、流氷を見たことでした。実はこれは僕にとって非常ラッキーなことだったのです。何でも僕が網走に入るまでの数日間暖かい日が続き、流氷は沖に出てしまっていたが、その日の朝は冷えこんで流氷が戻ってきたようだ、と列車で乗り合せた人は話してくれました。流氷ははるか地平線まで延びのびと続いて海の青さは見あたらず、真白い砂漠というか、月面の風景に似た不思議な景観でした。

三っ目は同じ四日目に根室標津を訪れたことでした。ここではいくらか時間があって港に行くことができました。港からは北方領土の一つ、国後島がはっきり見えました。直線距離にして二十数キロ、ちょいと船に乗ればいけそうな所なのに、そこは近ずくことさえ出来ない「外国の日本」なのでした。そして標津の街ではあちらこちらに「島を返せ」というスローガンが掲げられ、静かな港町にスローガンの絶叫が聞こえそうな雰囲気が漂っていました。ここにも、戦争の傷跡が戦後から一秒も消えることなく残っているのです。

観光地には目もくれず、ひたすら列車の中の五日間。ハプニングやエピソードはまだまだ沢山あります。しかし鉄道踏破を目的にした旅の中で以外にも塩狩峠という一人のキリスト者の生涯、流氷という冬の北海道の美しさ、北方領土という戦争の傷跡を見ることができたことは貴重な経験だったように思われます。

そんな経験を与えられた冬の北海道は僕にとっては極寒の地でした。今度はぜひ夏に訪れたいと思う今日この頃です。



50周年教区大会

日時　　4月24日　　11時～15時30分
　　13時　ミサ聖祭
場所　　栄光学園
色々なイベントが企画されています
是非、多くの方の参加をお願い致します。
又、ミサは出来るだけそこで授かって下さるようお願い致します。

委員会だより

3月 6日、婦人会より２名出席のもと集会室に於いて開催

1、壮年会よりの提案依頼事項
　1)青年会設立の件
　2)福祉委員を新たに設ける件
　3)マリア像周辺の清掃（ 3／27）
　4)自転車置場の再整備（　〃　）
　委員会としては1)、2)、に関して壮年会と更に検討した上で結論を出す事とする。
2、共同告解の件　従来通りとする。
3、聖週間の準備
　1)枝の主日　　枝の手配（山中さん）
　2)聖木曜日祭壇の準備　（花坂さん）
　3)復活祭ミサ後のパーティー　（小谷さん）
4、会計報告　（２月次決算）
　詳細は会計又は広報委員の所に有ります。
5、地区実行委員会の件
　同委員会より参加要請があり（ 3／13藤沢教会　当教会からは山崎神父様、婦人会２名、小谷、小野の諸氏が出席を予定。

婦人会だより

三月二十日の例会は三十名出席のもとで行われました。

@　婦人会の遠足は教会巡りを計画しました。
・目黒のアンセルモ教会
・サレジオ教会（ここで解散）
・田園調布教会（希望者の方）
　各教会とも聖歌、ロザリオ１環を全員で捧げる予定です。
日時　　5月17日（火）午前10時
集合場所　　横浜駅東急改札口まえ
持ち物　　お弁当、ロザリオ、ベール
尚　詳細に関しては役員までお問合わせ下さい

@　イースターの日の準備として婦人会では、前日（２日）タマゴゆで、おしるこづくりを皆様のご協力により行いました。ありがとうございました。

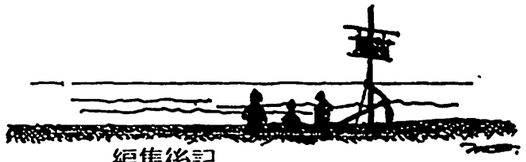
@　手芸造りの日　4月第3火曜日（19日）
　作品　毛糸で編むクッション
　材料　極太毛糸6個　カギ針（7、8号）
　午前　10時からはじめます。

次回例会　4月17日　当番いちょう団地、上飯田、瀬谷地区の方よろしくお願いします。

お知らせ

転入
　パウロ　藤井　彰夫さん　札幌　円山教会より
　住所　泉区上飯田町3499
　　中小企業上飯田寮 211号室
　電話　301--6840

お悔み
　今里さん
　3月 4日　死去
　　6日　葬儀ミサ（町内会館に於いて）



編集後記

イースターおめでとうございます。
4月は復活祭と共に入学や入社（就職）等新しいスタート（門出）となる月です。

この月に人生で初めての経験をする人達が数多くいる事と思います。

しかし、人は幼年、青年、壮年、そして熟年、となるに従って、初めてその物事に直面した時の緊張と感動と決意（初心）が年と共に薄れて来るのは否めない事です。

聖土曜日ミサの中での“更新”も初心を何時までも維持させて行く事の一つだと思います。

今年の復活祭は中和田教会全体のきずなをより強固にする事と新しい門出に立つ人達の最も意義深い“更新”と成りますように。

M・I

5月の行事

1日　委員会　ミサ后
8日　壮年会　〃
15日　青年会　〃
　　婦人会　〃

13、20、27日　レジオ

なかわだ会報

第 126 回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年5月1日

明日に向けて　⑥

山　崎　正　俊

◎　「各教区からの代表は、司祭5、修道者3、信徒5。信徒はたいてい小さくなり、司祭が大きな顔してしゃべり過ぎて目立ち、信徒は遠慮がちで言葉を奪われるところがあった。教区でまとめられたものに従って意見が出されるはずであるのに、提出されたものは作文されたものであり、発言のほとんどは出席者の個人的な考えによるものになり易いのはやむをえないことで、これは予想されていたところとしても、まことに多くの人の意見がどれほどの確かさをもって出ているのかわからないという、気掛りがないわけではない。それでも、司祭や修道者が、そのうぬぼれを捨てて、一般信徒の役割がもっと重要視されるようになるのは、時代のゆくところであろう」などとも云われている。それでも云いたいことを云う人があったりして、かなりの激しい言葉のぶつけ合いもあったのかもしれない。

◎　これまでのカトリックの路線は、押し通すべきではないかなどとの、議論を引きもどすようなことを云いかける人でもあると、それにおしかぶせるようにして、「今は開かれた教会ずくりを話しているのだ」というような怒りの声があげられるといった場面があったそうだが、威勢のいい正論らしいものの前に、ひかえめの弱々しく発言される素朴な疑問をおさえつけ、それによって、新しくこれまでのものに替わるものがないのに、そのうちの良いものまでその足らなさのために、すべて捨去るという愚を、ここで繰返してほしくない。そのはじめはよかったものが、時がたつにつれて、情勢の変化に適用するための反省の不足とか、善意はあっても心の狭さや方法の誤りなどによるゆきづまりから、どうにかしなければと思われることが多くなっているとしても、この地下聖堂の祭壇のまわりに盛りあがったものだけは消さないで、それがどれほど気も遠くなるような数限りないわずらわしさにとりつかれることになっても、それを貫きとうして行きたい。

◎　ここに云われているように、じみちな再教育の機会をつくってみよう。それが聖旨に叶うものならば、必ず、主の助けがあり、誠実に続けられるならば（それだけが、道を開くものになるのだが）、よい実を結ぶことになる。

“横浜教区５０周年
「教区の方針」の提案について”の報告

小野　雅彦

「教区の方針」第１次提案については、横浜教区報号外（1988年 3月）で皆様既にお読みのことと存じます。

さて、この第１次提案の検討が各地区で行われ藤沢地区（神奈川５区）では 3月13日に地区実行委員会を開催して修正提案を作成して教区に送りました。（中和田教会からは、婦人会、丸田様山本様、壮年会、小野の３名が出席）
教区実行委員会では、各地区から寄せられた修正提案をもとに第２次案を作成し、 4月 9日 4月10日の両日にわたって横浜教区全１６地区の代表者会議を招集して第３次提案の作成及び浜尾司教様に提出される最終案の作成を行いました。

（藤沢地区からは、大船教会　野沢神父様　聖母訪問会いシスター河内、中和田教会　小野の計３名が参加）

この会議には浜尾司教様はじめ全地区から神父修道者、信徒が計６０名余が参集して活発な論議が行われ、最終案は「新しい共同体をめざして」と題して、

前文
１　社会とともに歩むために
２　信仰に生きるために
３　共同体のあり方を刷新するために
結び

という内容で構成し、浜尾司教様はこの答申をベースに４月２４日の教区大会で「福音宣教の方針と具体的展開」を発表される予定です。

また、今回の会議で横浜教区を形成する４県のいろいろな意味での地域差が論議の過程で浮きぼりとなり、１つの共同体としてのまとまりが極めて不十分であったことが参加者全員に認識されたことが印象的でした。

一粒会通信

主の復活祭も過ぎ皆様お元気でお励みのことと思います。日頃の一粒会への御協力有りがとうございます。

一粒会の献金状況ですが、昨年度（1987年）の献金総額は32400041円でした。予想額（3150万円）を超えることができ、皆様のご協力を心から感謝いたします。尚、当中和田教会からの献金額は307516円で献金に対する比率は 095％と寄与しております。　今後共ご協力お願い致します。

教区神学生の現況ですが

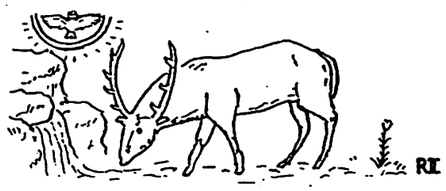
・大神学生：　志願者４名（山手、磯子、戸部、茅ケ崎からの各１名）が４月から東京大神学院に入学が決まりました。それで、教区大神学生は１６名の大家族となります。

・小神学生：志願者３名（大和、大船、富士吉田から各１名）がサレジオ中学を受験し、３名共小神学生として受け入れられました。横浜小神学院には、今年は教区の小学生６名と他教区からの３名を合せて９名の中学生、高校生が在籍します。

神学生も昨年に比べ、４名の増加となり一粒会で神学生養成援助金増額の要請も出しております（一人あたりの養成費は年間　約　１４０万円です）

神様への使者として助祭、司祭を目指しているこの神学生たちに皆様のお祈りと、温かいご支援をお願い致します。

（　七浦　）



青年会誕生のお知らせ

「青年の力を生かす場を作りたい」という素朴な感情から、高校生会にも壮年会、婦人会にも属さない青年が集り、このたび青年会を創設することになりました。正式発足は委員会の承認を得た後になりますが、４月３日及び１７日に有志により開催された会合で、以下の活動の実施を決定しました。

１、月１回ほどの典礼（先読み）の担当
２、壮年会、婦人会への代表者派遣（オブザーバーとして）

具体的な活動については暗中模索といった段階ですが、今後徐々に活動範囲を広げ、教会内にとどまらない幅広い奉仕活動を行っていきたいと考えています。

例会は月１回開かれ、次回は５月１５日です。活動計画の話し合いのほか、青年会名簿の作成も行いますので、青年の方は是非参加してミサ後の居場所を確保してください。

なお、青年会の発足にあたり、神父様をはじめ壮年会、婦人会等多数の方から御意見、御指導賜りまして、ありがとうございました。ここで厚くお礼申上げます。

婦人会だより

４月１７日婦人会例会が開かれました。
御復活のパーティは皆様の御協力のお陰で盛大に行われました事を感謝致します。

婦人会の電話連絡が多すぎるという意見がでました。黒板を利用するか又は今までどうりに電話で流すかどうか検討し、とりあえず連絡内容は玄関の黒板に掲示します。

５月１７日（火曜日）婦人会遠足に参加されます方は申込み用紙を５月１３日（金曜日）迄提出して下さい。

５月の手芸講習　　第２月曜日（９日）
　　第４火曜日（２４日）

例会（１５日）当番地区　上飯田、いちょう団地、瀬谷の方々。

要理学校より

下記の通り決まりましたのでお知らせ致します

5月侍者			6月侍者		
1日	花坂	山田	5日	山下	松下
8日	武田	松下	12日	花坂	宮崎
15日	山下	宮崎	19日	武田	下山
22日	清尾	下山	26日	清尾	山田

尚都合の悪い人は前もってご連絡下さい。

編集後記

4月24日栄光学園に於いて50周年横浜教区大会が晴天のもと、長野、山梨、静岡、神奈川から6000人の信徒が集い、大きな盛上がりをみせ盛会のうちに閉会しました。参加してこのエネルギーが更に大きく広がり充実して行くことを念じつつ帰途に着きました。

今回の広報は“青年会”のメンバーの協力により発行する事が出来ました。これからの彼等の活躍にご期待ください。　　M・I

6月の行事（聖御心の月）

6日　委員会　　ミサ后
　　青年会　　〃
19日　壮年会　　〃
　　婦人会　　〃
レジオ　10、17、24日
　　午前10時

なかわだ会報

第127回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－803－6141
1988　年6月5日

明日に向けて　⑦

司祭叙階式のあとに

山　崎　正　俊

@　それまでは、典礼文をきっちりと読んでいたのに、司教は突然、そばに立っている司祭たちを自席に帰えして、ぐっとくだけた調子で、身を乗り出すようにして言葉を続けた。直接には新司祭に向ける形をとって、四つの忠告を。――私は胸のうちで、何度も何度も繰返えしながら、ともすれば忘れそうになるのを、忘れてなるものかと思いつづけていた。神様から使われ易い者であるように、つぐないをすることを忘れないように、弱いものの側からものを見るように、損得のことばかりを考えないように。――いつも同じようなことを話されていたのであろうのに、これまでは耳に留まらなかったのは、どうしてだろう。

@　求められることを、いつでも気軽るに進んで果たそうとする。ときとして、最もいやなことに思っていることでも、誰かがしなければならぬことならば、私がしてはならないわけがない。目立たないところの、あまり手柄にもならないようなことの繰返しを、黙々と続けている人がいるからこそ、すべてが順調に動いてゆくのだ。

現代社会の矛盾は、これまでの行いの間違った部分の、しわよせが来ているのだ。よかれと思ってしていたことでさえそうならないのだから、知りながらおこなわれた目先きの欲にかられた行いの結果が、多くの悪い実を結ぶのは、当然のことだ。若し、私のしたことではないから知らんと言えば、いつになったら、それが補われるのか。

たとえば、山村が、あってもなくてもよいような場所とされ、取り崩されて、老いた僅かな人たちにだけまかされることになれば、その荒廃は進み、そこにたくわえられるはずの水と、そこで浄化される空気はすくなくなってゆく。大切な水と緑を他処に頼むような大都会が人を集め、その豊かなところが忘れられ軽んじられている。いまこそ、発想の転換がなされないならば、それだけで遠からず、生命あるものは、すべて死に絶える。

間延びしたところは、無駄なものと見なされて切り捨てられ、合理的で効率的な方法だけが、大切なことになった。それは偉大な現代文明の急速な発達をもたらしてくれた。有難い。――けれども、イエズスさまがゆっくり待っていてくださるので、この私でも、間に合っているのだが。

婦人会だより

5月15日　婦人会例会　　27名出席

1、バザーに向けての話し合いをしました
　時期としていつ頃がいいか　10月23日
　　30日
　　11月　6日
　婦人会で無理なく出来る範囲内で（親睦、近隣の方々に声をかけて）

2、　衣類の交換会を行います。ダンボールを置いていますので皆様のご協力をお願い致します。（7月例会の後行う予定）

3、　婦人会の電話連絡は緊急時のみ連絡する様に決りました。お知らせ等は玄関の黒板を利用していますので必ず日曜日には御覧ください。尚、掃除の連絡はその週の方々のやり方で決めて下さい。

4、　5月17日婦人会で教会巡りをしました。
　目黒聖アンセルモ教会（ここではアロイジオ神父様よりマリア年にあたりそれに関連したお話しをいただきました。）
　元中和田教会にいらした吉武さんはじめ数名の方と一緒に聖歌、ロザリオを唱え、続いて聖堂の説明をもしていただきました。
　碑文谷聖サレジオ教会（江戸のサンタマリア様）ここでも主任司祭より江戸のサンタマリア様の由来を話していただました。
　近くに民家園“すずめのお宿〃で休憩してそれぞれ帰途につきました

次回6月19日例会当番和泉、ドリーム、深谷汲沢地区の方、よろしくお願いします。
バザーの準備として6月7日（火）
　　13日（月）
　　21日、28日（火）
　　13日はお花の講習会
皆様のご協力をお願い申上げます。

レジオからの報告

5月20日　宮下神父様をご訪問しました。とてもお元気でした。又、皆様の来訪をお待ちになっていらっしゃる様に感じました。

委員会だより

5月1日集会室に於いて婦人会より2名出席のもと開催。

1、親睦バザーの件
本年秋実施予定の開催時期につき当日出席の婦人会長より婦人会の方針について次の通り説明があり、委員会においてもこの方針により実施することを決定した。
1)10月下旬（23日か30日）
2)会員の方々に負担のかからない程の内容
（神父様よりも時間、労働、経済面で負担をかけず出来る範囲で親睦を中心に実施するように要請されている。）

2、山崎神父様御霊名祝日のお祝いの件
6/29（水）の聖ペトロの祝日は恒例のJR関係研修会にご出席の予定があり 7/3（日）に例年通り、ささやかながらお祝いを実施することとした。

3、その他
1）4/24開催の教区大会席上司教様が発表された「福音宣教委員会」設置について、未だ具体的措置については未定だが、藤沢教会が中心となっている実行委員会への出席に壮年会、婦人会から若手数名を代理者として出して欲しい旨神父様より要請があった。
2）過般設置を決定した聖堂内シルバーシートを2席近日中に設置することが報告された。

4、会計報告
（4月次決算）詳細は会計又は広報委員の所にあります。

青年会だより

5月15日　11名の出席で、青年会例会が開かれました。今後の活動の確認が主な内容でしたが、教区50周年の提案「青年は主体性をもって共同体に参加する」（Ⅱ－2－ロ）の実践を核としたいという意見も聞かれました。しかし、活動は決して順調とは言えず、もどかしくも感じられますが、もう少しすると皆様の目に触れられるところで青年会が活動しだすでしょう。

また例会の日取りは、その都度例会の出席者の都合により決まるので、第何週の日曜とは決められないのですが、教会入口のホワイトボードに記しておきますので、そちらをご覧ください。

次回は6月5日ですが、次回から具体的に仕事を分担し、当番を決定したいと思っております。そろそろ夏休みの企画も教会のあちこちで出てくる頃ですが、青年会のメンバーはヘルパーとして様々な所で働かねばなりません。そのためには現在の人数では不足で、暇をもてあましている人はもちろん、ネコの手だけでも貸せる人が必要となってきます。何かと忙しいことと思いますが、忙しいからこそ生活は充実するもの、ぜひ青年会で忙しくなりませんか？多数の青年の参加を期待しています。

壮年会だより

5月の例会が、8日、8名の出席のもとで開催されました。

1、委員会の報告（五十嵐会長）
- 地区実行委員会の今後の活動
- 花壇の手入れの件
- 青年会発足
- 親睦を主目的としたバザーを10月に行うこと
- 山崎神父様の霊名祝日のお祝を7月3日に行うこと
- 御聖堂に高齢者の為のシルバーシートを設けること　（当面2席、小谷副委員長のご尽力による。）

2、壮年会例会開催日変更の件

6月より開催日を（婦人会例会と同じ）第3日曜日とすることになりました。
従って6月度例会は6月19日となります。
会員各位の御出席を宜しくお願い申しあげます。　（小野）

お知らせ

ビデオテープ貸出しのご案内

- 50周年横浜教区大会　　ベーター　VHS
- 川崎公害の記録　生きる権利　　VHS
- 風が吹くとき　　ベーター　VHS
- チェリノブイリの記録　　〃
- ´87　中国遊行　　ベーター
- テレーズ、マルタン　（幼きイエズス聖テレジア）　　ベーター、VHS

など、集会室に取揃えてあります。どうぞ皆様のご利用をお待ちしています。又この充実を図るためのビデオテープが有りましたら、山崎神父様か広報委員まで、ご連絡下さい。
皆様のご協力、ご利用をお待ちしてます。

御結婚おめでとうございます。
5月8日（日）山手教会にて
　テレジア　小野寺　光子さん
　　木下　俊行さん
6月5日（日）~~山手教会にて~~ 聖イグナチオ教会にて
　マリア、ソフィア斉脇　聡子さん
　　田島　裕之さん

転入
鹿野ミサヲさん　泉区和泉町698－1
（尾崎様方）　803－3409
皆様どうぞよろしく。

要理学校より6月の待者お当番
5日　山下　松下
12日　花坂　宮崎
19日　武田　下山
26日　清尾　山田

7月の行事

3日	委員会	ミサ后
	青年会	〃
17日	壮年会	〃
	婦人会	〃
8日		
15日	レジオ	
22日		

第１２８　回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年７月３日

明日に向けて　⑧
鉄矢の母ちゃん

山　崎　正　俊

俺は、かなり大きくなるまで、メロンが食べられるものだとは、つゆ知らなかった。母ちゃんがこともなげに、「あれは、アメリカさんの、飾り物さ」と言っていたからだ。この母ちゃんは、たばこ屋の店を出しながら、お仕立物などして、幼い俺たちをそだてていた。お金が少ないことを知ってはいたのだが、やっぱり、そこはそれ、子供ながらも面子がある。学校に持って行く教材費や給食費が、三か月もたまると、先生と顔があわせにくくなり、学校に行くのがつらくって、母ちゃんにぐづぐづ言ったもんだ。そしたら、俺の眼をじっと見ながら、母ちゃんは、きっぱりときめてくれたね。「そんなにせっつくなってことよ。小学校はな、これぐらいのことで、倒産するようなことはないで」――ほんとうに安心した。私も嬉しくなっちゃう。掛け値なしに。やっぱり、母ちゃんは、えらい。どんな女人も母となると、その子にとっては、ぜったいなのだ。

どうしようもないほどに、やくざな男。警察に追われ追いつめられて、ピストルを持っていたので、射たれてしもうた。血まみれになって、ぶっ倒れ、死にかけているその「いとしい男」のうえにかがみ込み、両手で頭をだきかかえ、その女の人は小声で、といかけた。まるで幼児をあやすように。「痛いの？」（普通のシナリオだったら、「おまえさん、死なないで」とかなんとか言いながら、とりすがってかきくどく、とでもなっているところだろとが、その女優は、アドリブで、とっさに）――刑事役の主演男優は、鼻の頭に汗をかきながら、「とてもたまらん。また食われてしもうた。負けた負けた」と、くやしがっていたのだが――このやさしさは、なんとしたことか。

ある作家の小品に、大きく張ったその網にかかつたチョウを、すばやく包み込んで、いきなりかぶりつき、その生命をむさぼる女郎グモが、あとで、沢山の子を産んで、いつくしみ育てているようすを読み、ことの無惨さに胸突かれたものだったが、あれは虫の世界だけのことではなく、この人間を含くめて、あらゆる生き物に見られる姿である。――それでも、みせつりのはかりがたさのうちに、あれほどのおかたが、これほどにもやたらとおられることの、御奇特さよ。

委員会だより

６月５日集会室に於いて開催。

１、夏期子供会の件
本年も８月上旬を実施予定としているが、具体的な計画については父母の方々と打合わせ行って決定する予定。

２、親睦バザーの件
婦人会代表より開催日は１１月６日（日）を予定したい方針でいるとの事、委員会も意義なく当日を開催日として諸準備を進める事とした。

３、教会１０年史の件
小谷副委員長より「聖堂棟上げ当時より教区50周年までの当教会の歩んできた道を年表中心に作成すべく関係者の協力により概ね資料の収集が終った。節目を迎えたので来たる７月１０日関係者により具体的な検討を行いたい旨報告があった。

４、会計報告（５月次決算）
詳細は会計又は広報委員の所にあります。

５、その他

以上

中和田教会１０年史について
教会史編集委員会から

四季は巡り、１０年史編集会議も、其の回を重ね、愈々、編集の枠組みに入り、今秋完成を一応のメドにしています。

省りみて、１９８６年（S、６１年）５月４日壮年会長の提案をうけ、教会委員会は直ちに採択の承認をいたし、その年の９月１４日「委員会は作成のための事業計画を立案」１２月５日委員の委託を壮年会、婦人会の賛同を得て任命させて戴きました。発足の事務準備から翌１９８７年２月１５日初会合会議開催、山崎神父様を委員長に９名の委員が決まりました。編集の方針は、単なる文集、エッセイ集ではなく、この１０年史の柱とも言うべき年表を主題とすること、他に類を見ないカラーを出すには、委員が分担業務の中で資料を充分集め、各々教会内外、信徒各位に絶大な協力を戴かなければならないと。各委員は全力を尽くしています。年表の始期は献堂、終期は教区宣教５０年記念式典迄。

以上

壮年会だより

６月の例会が、１９日に開催されました。

１、庭の大掃除および懇親会の件、
７月２４日９時のミサのあと、除草、庭木のせん定、溝掃除、等行いその後、懇親会を行うことが決まりました。
場所　新集会室　２階
会費　１０００円／人
掃除および懇親会に会員各位のご参加をお願い致します。

２、その他
・バザー開催日の確認
・御ミサのとき各人名札をつけましょう。
名札は集会室にあります。

婦人会だより

１９日　出席者２９名

⊙ バザーの手芸品づくり等に使用する
フエルト、毛糸、布など御寄附いただけるものがありましたらお願いいたします。

⊙ 新品の不用品がありましたら、ダンボール箱を廊下に置きますので御寄附ください。

⊙ 名札を、例会と、行事の時着ける事に決りました。

⊙ ふきの佃煮を有志の方達で作ってくださいました。（詳しいことは位田さん迄）

⊙ バザーの準備は毎週火曜日行っております
暖かい御協力お願い致します。
⊙ 例会は１７日お当番は踊場地区。
⊙ 尚例会後衣類交換を致します。

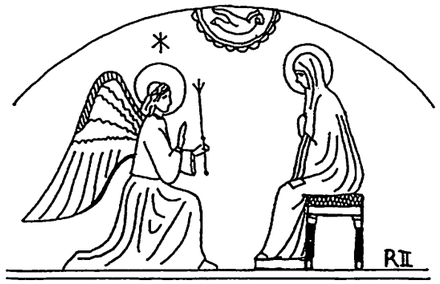
青年会だより

６月５日、９名の出席で青年会例会が開かれました。今回は、小冊子『新しい共同体をめざして』を読み合わせ、青年会の役割を考えました。その結果、中和田教会にも改善の余地があるのではないかという意見が出て、まずそこから刷新していくのが先決だと結論が導き出されました。

その実践とまではいかないものの、７月から毎月第２日曜のミサを青年会で担当することになりました。特にミサに新たな企画が加わるわけでは勿論ありませんが、進行など目についた点がありましたらよろしく御指導をお願いいたします。

また、青年会の名簿の作成への御協力ありがとうございました。メンバーは２０名弱ですが、半分は、いわゆる“非常勤”です。常に活動できる人が少ないのが欠点ですが、それなりにやっていくつもりです。

次回の例会は７月３日よろしくお願いします。



要理学校より

7月の侍者		8月の侍者	
3	花坂　松下	7	山下　宮崎
10	武田　宮崎	14	花坂　下山
17	山下　下山	21	武田　山田
24	清尾　山田	28	清尾　松下
31	武田　松下		

夏期学校は８月４、５、６、日予定していますお母さん方のご協力をお願い致します。初聖体３名のお友達が受けられます。
皆さんお祈りしましょう。

編集後記

夏休みの計画はいかがでしょうか。開かれた教会として日常の生活を見直す良いチャンスが訪れるころかと思います。広報なかわだ８月号は休刊となります。

9月の行事

11日　委員会　ミサ后
18日　壮年会　〃
　　婦人会　〃
9、16、30日　レジオ

なかわだ会報

第１２９回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－803－6141
1988　年9月4日

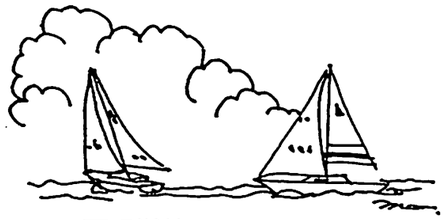
さまざまな出会い
――中学卒業過ぎまで　①

山　崎　正　俊

人生について考えさせるものだったら、何んでもよかった。どん欲に吸収しようとした。小説でも論説でもかまわず、手当り次第に読んだ。楽しみや時間つぶしのたぐいのではなく、修業の指導であり、人生の聖なる経典であった。むつかしいものなどは手にあまったが、講談社から出されていた修養全集、講談全集（古典的なものと、西洋の名作に依ったものとの二種類があった）などは町の図書館で、ほとんど読み了えていた。

病後で、まだ弱かったのか、夏の強い陽射しに倒れて、日陰にしばらく休ませられた。上半身を脱ぎ、白の短パン姿での体操の授業のときのことであったが、その木の下に座っているのを見た悪友どもが、ガンジーみたいだと云いはじめ、それが私のアダ名になったことから、インドの聖雄ガンジーの反英独立運動のことなどにも好奇心をむけることにもなっていった。そのせいか、強い流れには直接さからわないで流されながら、それとわからぬようにすこしずつ目的のほうに近付くという方法が、いつしか、私の生き方となった。

そのすこしまえに、共産党にたいする大弾圧がおこなわれ、町でも沢山の若い人たちが警察で取り調べられ、どなり声やうめき声、竹刀でなぐる音などが、前の道までも聞こえ、連日のように土地の新聞をにぎわしていた。そのうちに、私が尊敬していた近所のお兄さんが捕えられ、監獄に入れられ、何処かに行かされてしまうということもあった。その家で見た「鬼畜」という詩集や機関誌の「戦旗」のことが、その表紙だけのことだとしても、記憶に残り、社会的に差別され虐げられている人たちへの関心が強まり、下の立場からものごとを見るという視点が芽生えさせられ、継いで賀川豊彦牧師や、レフ・トルストイのといっても、キリスト教にもとずく諸論著のいくつかを読みつぐことになるのだが、いつしか、それまでとは違った世界の入り口に立っていたのだ。そのほか、谷口雅春師の「生命の実相」とか、それに続いて出た「久遠の疾風（はやて）」といったかと思うのだが、それの半分ほどを読んだりしたことから、「同じものでもそのとき、それをどのように見るかによって、すべてが変わり、世界が新しくなる」ということをたしかめ始めてもいた。



要理学校

要理学校の夏期学校は8月4日～6日迄2泊3日で教会に於いて１６名の参加で行いました。

・スケジュール
　4日（木）　ドリームランド
　5日（金）　午前中教会内にて要理勉強
　　午後武田さんの農場見学
　6日（土）　まとめ　昼食後解散

以上のようなスケジュールで行いました。前日までの雨もあがり、夏の太陽の下で、ドリームランドで又、武田さんの農場で遊ぶ子供の顔は生き生きと太陽の光のごとく輝いていました。

その子供達をみていて生きているすばらしさ、生れたばかりの子ブタを見て生命の尊さを思い、全てをあたえてくださった神に感謝せずにはおられませんでした。要理勉強は、「他人への思いやり」について勉強しました。昨今の何かさつばつとした世の中にあって、他人への思いやりとはどういうことかイエズス様は他人に対してどのようにしろと言っているかを勉強させました。スライド、”勇気のなかったきょんちゃん“という物語を見て、きょんちゃんの行動を通して他人への思いやり、又親切にするということはどうゆうことなのかを各自にまとめさせ発表させました。熱さのせいもあって子供達の集中力がなく、まとめさせるのに、苦労しました。各自の発表の中で他人に親切にする又思いやりある行動をとるということは勇気のいることであるが、イエズス様が隣人を自分と同じ様に愛せよといわれているので、困っている人がいたら勇気をもって行動していきたいとまとめていましたが、大人でもそのような行動をとることは勇気のいることで子供達が少しでもわかってくれたのかと思うとよかったと思っております。毎年同じ時期に夏期学校を行っていますが、暑さと、寝不足等で三日目は子供達もかなりつかれているので、来年は場所、やり方等を再度考えなおして行きたいと思っております。御父兄、又いろいろな方々の御協力をいただきまして今年も三日間事故もなく無事に終わりました。紙面をおかりしましてお礼申上げます。又今後も要理学校の子供達の為に私達一同頑張っていきますので、御協力のほどよろしくお願い致します。

（井上）

委員会だより

7月3日婦人会より２名出席のもと集会室に於いて開催。

1、夏期子供会の件（井上委員）
大綱は昨年通りとし8月4日～6日の3日間新集会室を利用して開催する。
・テーマは他人への思いやり。
・参加人数は２０名程を予定。
・経費は2500円／人とする。他に６万円及び父兄からの差入れもあり運営の面でも問題ない。

2、教会門の改修の件
現在錆びのため開閉不能であり且、車の出入れに支障を来たしている為、一部切除することが提案され、これと併せて門塀の改修について話合われたが経費上の関係もあり今回は扉の一部切除丈を実施することとした。

3、郵便受改修の件
現在の郵便受は狭小であり且、使用に不便で有ることから別の場所に新設することとなった。
（大きさ、場所等、山崎神父様の意向を中心に七浦さんが計画、作成される。）

4、会計報告（６月次決算）
詳細は会計又は広報委員の所に有ります。

以上

壮年会だより

7月２４日に壮年会と青年会との合同で、教会の庭の手入れを行いました。

生憎の空模様でしたが、庭木の剪定、雑草とりなど約１時間半にわたる作業を終え、その後で簡単な懇親会を催して楽しい一時をすごしました。

（小野）

婦人会だより

要理学校のイベントの一つ、夏期学校も天候に恵まれお母様方の協力で無事終わりました。

バザー準備の為のお願い
・家庭で新品の不用品等有りましたら是非ご寄附下さい。
・又、毎週火曜日10：00より集会室に於いて準備の為の作業をしています。時間の都合のつく方どうぞ、ご協力お願いいたします。
それと、各自で得意とする作品のご協力もお願い致します。（材料費など、必要経費は、遠慮なくおっしゃって下さい）

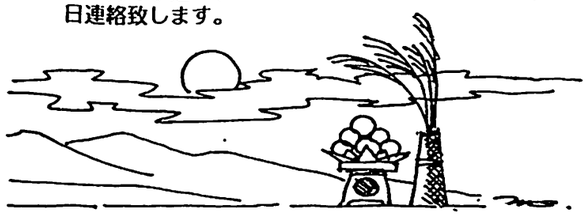
今月の例会の当番は岡津地区です。

青年会だより

7月、8月は何かとイベントが多く、青年会の例会もなかなかできませんでした。合宿シーズンでもあり、大学生はあちらこちらに動きまわっていました。

そのような忙しい時でしたが、8月6日には青年会の企画によるバーベキューを行いました。土曜日の晩ということで社会人の方々の参加も数多く得られ、また地方から帰省した久しぶりの顔もあり、盛況のうちに無事終了しました。要理学校の夏期学校の直後であったため、材料の買出しも少しで済みました。その結果一人あたりの費用は、米国の公定歩合引下げによるインフレ懸念をものともせず、2ドルと少しで上がり、安いと好評でした。たくさんの方々から御協力をいただいたことを感謝致します。

9月の予定は、まだきまっていませんので、後日連絡致します。



お知らせ

初聖体　（8月7日）
　パウロ　上野　恭輔
　マルコ　山田　桂一
　クララ　滝川　信歩

洗礼　（8月14日）
　マリア、アスンタ　仲村　フク
　泉区和泉町２４１９
　（８０２）１１００

　マリア、アスンタ　松田　ノリ子
　泉区上飯田町１０５９
　（８０３）３００８

転出
　テレジア　木下　光子（旧姓小野寺）
　東京都東村山市富士見町２－１１－３９
　マリア、ソフィヤ　田島　聡子
　　（旧姓斉藤）
　千葉県柏市明原３－１８－１６
　明原グリーンハイツ２０２

転入
　ペトロ　岩淵　英介
　テレジア　岩淵　洋子
　ラウレンシオ　岩淵　宏毅　４才
　戸塚区汲沢３－１８－１５
　（８６２－１０７５）

アンナ　下村　友子さんの一周忌ミサ
１８日（日）午後１時３０分より
皆様、お祈り致しましょう

11月の行事
（死者の月）

6日　バザー
13日　七　五　三
20日　壮年会　ミサ后
　　婦人会　〃
11、25日　　レジオ

なかわだ会報

第131回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年11月6日

ひとつの段階　①

山　崎　正　俊

◎　或る荒れ寺の住職になった坊さんがあった。本堂を再建しようと発願して、費用を集めるための托鉢をはじめた。その坊さんの日常は、出費をすくなくするのあまりに、なりふりかまわぬ、爪に火をとぼすほどのケチ。出すものは舌も出しおしみするので、そんなにためこんで、本当は何をするつもりか、お金の亡者めとの悪評さえたちはじめていた。南画と書をよくするところから、それによって謝礼としてのお布施も受けることにした。費用も集まるが、悪評もますます高まる。

◎　或る御大尽の宴席に於いて、席画を描くことになり、準備をととのえて出掛けた。描きすすむうちに、そこにいた遊女のたってのたのみで、ふすま画ほどの大きさのものが所望され、特にみごとな仕上りだった。ところが、その遊女は、描きあげられた画布を受取ると、いきなり腰に巻きつけて、こんな生臭坊主の画はあまりにも下卑たものだが、おそれ多くも、私の腰まきにしてあげるから、有難く思いなさいぐらいのことを云ったりしては、小馬鹿にした、御大尽の威を借りた狐の仕打ちだったが、その座にいた者たちは、その思いがけない事態に手を打ってはやしたてた。けれども、その坊さんは、謝礼を受取ると、嬉しげに合掌礼拝して、そのまま帰っていった。

◎　聖ヴィンセンシオ・ア・パウロは、たいへんな聖人として尊敬されている。しかし、その伝記映画のなかに、もう薄暗くなった夕刻、みすぼらしいかっこうで、しょんぼりと立ちつくしている場面があった。或る大金持ちの家の裏口だったかもしれない。そこの応接間では数人の貴婦人たちが、自分たちの慈善団体の制服のデザインについてあれこれと、時間を忘れて話し合っていたのだったが、聖人は、それが終わるのを根気よく待っているのだ。その貴婦人たちの心のうちにあるやさしい痛みやすい思いを集めて、ペストで倒れ苦しみに泣いている人たちのところへ、神様の愛をはこぶために。聖人は、その足らなさを責めるまえに、そこにある善意を引き出し、賛えたのだ。

◎　あの聖母の騎士会のゼノさんも、似た模範を残している。聖母のお手伝いをするために、進んで、困難にたちむかった。「はずかしめは、すべて私のために」と、自分の愚かさまるだしで。

委員会だより

１０月２日婦人会より１名出席のもとに集会室に於いて開催。

1バザーの件
10／23日壮年会、婦人会、青年会、中高生会による合同打合わせを行う。

2例年通り７・５・３のお祝いを対象者が有れば11月13日に行う。

3その他
・図書の整備、整理を青年会に依頼する。
　指導は小野寺さん。
・火災保険（教会施設）の更新を行った。
・敬老会　お礼状及び電話での謝意が多数寄せられたとの事。尚、今後対象者への催しに関して内容の検討を行う事の提案があった。
・「教会内の親睦について考える」事に関して検討を行う。

壮年会だより

１０月の例会が１６日　８名出席のもとに行われました。

1、教会委員会の動きについて、
　束原委員長より現状報告（教会の在り方、及び目標の定めかた等に関する説明）がありました

2．下記の件について話合いを行った。
・暖房について　床下からの冷気を防ぐ対策。
・バザーについて　今後は青年会が中心になって進めてもらうように話合いを行う。又１１月５日（土）テントなどの会場つくりの為、皆様のご協力をお願いします。
・教会裏庭の掃除について
　１１月２０日（日）例会の後、草かり、枝落とし、集会場の鉄柱のペンキ塗りなど行います、腕に覚えのある方、関連した道具をお持ちの方、是非、ご協力お願い致します。

婦人会だより

１０月１５日２５名出席で例会を行いました。
・バザーの日の前日と当日お手伝いの方をお願いする。
・当日の販売店の配置等検討しました。
・委託品の追加がありました。
・１１月４日　婦人会で亡くなられた方々の為に御ミサをお願いしました。
・秋のハイキングの件
　日時　11月18日（金）
　行先　大山　（雨天の場合は中止致します）
　　詳細はバザーの後お知らせします。

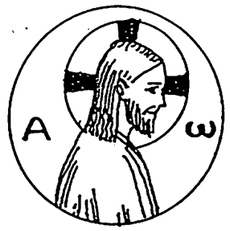
お知らせ

お誕生
　ヨハネ　真浦　友晴　　8月17日
おめでとうございます。

黙想会（ゆるしの秘跡）
　１２月４日　指導　ウルフ神父様

今月の侍者当番

６日　花坂　　清尾
１３日　武田　　山田
２０日　山下　　松下
２７日　花坂　　宮崎
都合の悪い日は前もってかわるように、お母様方よろしくご指導下さい。



編集後記

何年振りかで映画を見に行きました。その日は映画日和とはいえない素晴らしい秋晴れで、あまり気が進まず促されるまま、渋々出かけた次第です。

うとうとしながら見ているうち、字幕に時々耳にする言葉が目に入って来ました。「慈善とは言葉ではなく、行う（実行する）事です。」

見終わって、よく耳にするこの言葉が特に、強く心に残った訳は、この主人公の、慈善を実行している姿が言葉とまさに一致していたからです。

それは、売名でも、有償でもない、慈善を行う控え目の小柄な女性が登場するドキュメント映画でしたが、普段何かを決めるときにああでも無い、こうでも無いと、文句を言いながら結局有言不行の自分には強烈なインパクトとなりました。

その映画の題名はマザーテレサ、そしてこのパンチが少しでも長く私の心に残る事を念じつつ映画館をあとにしました。

今月は原稿が集まらず、従って長い、変な編集後記となりました。皆様のご協力（寄稿）よろしくお願い致します。　　M・I

12月の行事

11日　委員会　ミサ后
18日　壮年会　〃
　　婦人会　〃
　　青年会　〃
24日　ミサ　20：00
25日　ミサ　10：00
元旦のミサ 7：00・10：00

なかわだ会報

第132回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区　中田町　2701
TEL 045－ 803－6141
1988　年12月4日

ひとつの段階　②

山　崎　正　俊

◎　それでも、その人が、私の大恩人の一人であることには、変りがありません。――政治的社会的に差別され圧迫されている人たちの、血のにじむほどの苦悩にたいする師の考えのなかに、足らないところや見当はずれの思い込みがあって、それに気付かされるようになっても、それのよって来るところへまで行き着けなかった自己反省の、不徹底さのために、何となく嫌な感じを引きおこさせられています。それまでの私にとっては、師の著書のいくつかによって、「生きる道」がイエズスさまの道に続くようにされ、胸が熱くなるほどの大きな喜びのもとであったのに。
◎　御自身でも多くの人の働きをささえたり、いろいろと新しいことをはじめたりしておられたから、よけいに尊敬されているのですが、イエズスさまは罪のほかは、人と同じ者になってくださったことを知って、そのイエズスさまの御跡をゆくつもりでありながらも、実際には、それに徹し切ろうとする努力に、息切れされるときがあったのでしょうか。――いくら偉大な実績があったとしても、間違ったところがあれば、改められねばならないはずです。これは当然のことです。
◎　それでもこれは、いまは亡き両親と私のことですが、私にもある、ひとなみのなつかしくしたわしい多くの思い出、幼い日に寄せていたはずの信頼が、いまでは、ひどく薄れているのに似ています。私が今日に生きる出発点であり、精神的生長のためには、より多くの刺激となっていたはずなのに、まさに其の処にこそ、心して越えなければならない「限界」があると、感じています。
◎　それにしても、悲しい。水平社の果たしている「差別からの解放」のはげしい戦い方を、「憎悪の福音」だときめつけて、逃げ出してしまわれるとは、師らしくもない。これは、気がつかないままに、すべてを見下している他処者の、陥ちいり易い、ありふれた落とし穴です。――
◎　いまはここに生きているから、現世（此岸）にもよく、目をすえることにしているのですが、固有の伝統や出自などは、その好みと共に、人類のおろかな遺産として、押し均らされてしまうもののはずです。それで、永遠の生命（彼岸）に寄せる思いだけは、忘れたくありません。

バザーで　何かが

好天に恵まれ近所からも沢山の人々が訪れみんなが和気あいあいと楽しいバザーが送られたことも神様のお恵みと、感謝の次第です。
壮年会は例年通り、焼きとり焼きそば、飲物とそれに今年は焼きいかと言ったスペシャルが一品加わっての出店。味もさる事ながら専ら“匂い〟の方でサービスと言った活躍ぶりでお客様の鼻を楽しませたと思います。壮年会長の五十嵐さんが前々から、次を担う若者達を育てると言うことに力を入れておられたので今回は焼きとり焼きそばの焼き手さんに青年会、中高生会の中から岩崎君横塚君、橋君達と未来の壮年会の卵たちに参加して貰い頑張って戴いた。教会の分担には壮年会や婦人会、青年会や中高生会等とお互い役割を持っていても親睦バザーと言ったこのような機会にまだ言葉も交わし合ったことのない者達が何かで協力し合って心を通い合せると言うことは大切なことかと思います。一つの仕事に大勢が参加して互いに手を汚し汗を流し合うひと、そんな時に何となく心が通い合い何かが生れて、お互いの心に何かを残してくれる。そこが親睦バザーの期待する大切な何かでないかと思います。正直なところ火の熱さで指に水ぶくれをつくり、煙には泣かされ“疲れた〟の一言が実感でしたがでも終わって“ご苦労さん〟と交し合った言葉の中に何かが残ったのではないでしょうか。青空の下で言葉を交し合い、お互い飲み食いしている中から笑みの輪が広がっていったらそれで親睦バザーバンザイだと思います。通りがかりの人の中にも焼きとりの匂いで教会の門をくぐるとは、これも神様のおはからいではないかといつか気付く人が現れるかもしれません。又来年もおいしい“匂い〟を漂わせましょう。

七浦　鑑吉

委員会だより

11月27日婦人会より２名出席のもと集会室に於いて開催。
１、共同告解12／４（日）　ウルフ神父様
２、クリスマスミサ後のパーティー
　例年通りとし　予算３万円それと婦人会より豚汁のサービスを予定している。
　（小谷、花坂委員）
３、バザー決算報告
　壮年会、青年会より正式な報告が出されていないが、婦人会の純益は191825円となった。
４、元旦のミサ　（日）７：00と10：00の２回
　共にミサの後　賀詞交換会があります。
　尚、年末（12月31日）のミサはありません。
５、新年会　壮年会、婦人会の決定にまかせる。
６、信徒総会　1月29日を予定。
７、敬老と同じように成人を対象とした祝いを検討する。
８、会計報告　（10月次決算）
　詳細は会計又は広報委員の所にあります。
９、10年史の経過報告　（小谷委員）
　発行は89年6 月を予定
その他
　年末大掃除　婦人会は12／17（土）
　　壮年会は未定

バザーを終えて

小山　雄悟

去る11月 6日、快晴の空の下で中和田教会のバザーが開かれました。「快晴」と書いてしまえば実に簡単なようですが、バザーが盛り上がる大きな条件に、「快晴」があると思います。傘を片手に持っていては財布の出入れに不自由だし、気温が下がれば心もフトコロも寒くなりがちですから
そう言えば昨年のバザーは雨でした。寒いなか焼きとりを焼いたのをよく覚えています。今年は晴れてよかった。などなど、当日の朝はいろいろと考えていました。
今回僕が関わった出しものは、中高生合同の射的ビンゴ、青年会のネズミ・レースでした。中高生は例年ビンゴをやっていましたが、ビンゴだけでは間がもたないということで射的が提案されたのでした。青年会のネズミ・レースは、どこからそんな企画が出てきたのかわからないのですが、冗談が本気になってしまったようです。
それぞれの企画にそれなりに手間がかかったわけですが、予想していたほど大変なものではありませんでした。文化祭の感覚に似たものがあって準備段階はそれほど苦痛ではありませんでした。単に中高生を酷使していただけかもしれませんが…。そしてこの間に、いろいろな方から様々の援助を戴きました。
実際に使用に至らなかった援助品もあったのですが、大きな励みとなりました。本当にありがとうございました。
当日はやはりハプニングがあったので、いかにも手作りバザーらしく感じられました。まず、ビンゴの器具そのものが当日なかったのでした。準備中の連絡の不徹底が原因なのですが、思わぬ落し穴でした。
もう一つは、客の入りがどれくらいかわからず景品を買いすぎたことでした。この原因は、「若さ」でしょうか。
他の企画はゆっくりまわる暇がなくてよく見られませんでしたが、それなりに盛上がっていたように感じられました。食べ物もおいしかったです赤い顔して焼きソバを作っていた人達が、青い空を背景に妙に浮いて見えました。
今年のバザーはこんな風でしたが、来年もまた楽しくやりたいものです。一つの教会のなかで客の奪い合いをしないくらいにおもしろいて手作りの企画を考えたいです。今年の射的やネズミ・レースのような。「中和田のバザーって、小ぢんまりしていて家族的ですごくいい」と、他教会の人が言ってくれました。僕もそう思います。これからまた様々なイベントがありますが、中和田らしさにこだわっていきたいと思います。

壮年会だより

１１月の例会が、２０日１２名の出席のもとで開催されました。

１、広報　・最近投稿の数が少なくて、広報紙面の充実が図ればと広報委員が非常に苦労しておられる様です。この件について
　⊙子供の書いたものが全然のっていない。
　⊙全く手を加えずそのままのせていったらどうか。
　⊙個人の思い出等などについてものせてよいのではないか。
　⊙コラム的なものでもよいのではないか
　等のご意見が出ました。
要するに内容、形式は問いません。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

２、壮年会役員改選　１２月末をもって役員（会長、副会長、会計）の任期が満了とまります（注　現役員は２年×２期の間在任）
　来月例会で改選（投票）を行いますのでよろしくお願い申し上げます。

３、「中和田教会の歩み」が最終段階に入り「聖母のきし」より発刊の予定との報告がありました。
上記例会終了後、教会の庭の植木の枝ばらいを行いました。　以上
（小野）

婦人会だより

11月20日、32名出席のもと例会を行いました。11／6 日お天気にも恵まれ皆様方一人一人のご協力のお陰で楽しいバザーを行う事ができましたので今月の例会は御苦労様会を兼ねて行われました。
・バザー収支報告　詳細は婦人会会計の所にあります。
・64年度役員会を12月4 日におこないます。
・12／17（土）第三土曜日、大掃除を行います。9時30分より　多数の方々のご協力をお願い致します。
・12／24（土）クリスマスミサの後、豚汁を準備致します。

お知らせ

転入

マリア・グラチア　小宮山　延子（エンコ）
マリア　岱子（タイコ）（S58 11 18 ）
パウロ　鉄舟（S62 6 18 ）
泉区中田町1675-4　白百合母子寮

テレジア　中浜　恵
戸塚区深谷町1610-152　松尾　方
電話　852-0950